



『 鞆祭 (ふいごまつり) 』

この絵は横山大観がふいご祭の早朝、鍛冶屋の前に集まる子供達を描いたものです。ふいご祭りは11月8日(☆)に行われます。鍛冶屋や鋳物師(いもじ)、鋳師(かざりし)、時辰師(とけいし)などふいごを使う職人さん達が、守護神(☆)を祭り神事を行います。

祭りの日には鞆を清め、御神酒、赤飯を供え、親戚や知人を招いて宴をはり、鍛冶屋の屋根からミカンを投げて子供達に拾わせました。門口に掛かったのれんには『相模国住人兼氏』と書かれています。この鍛冶屋は元、刀鍛冶だったに違いありません。

『ミカン船の話』

江戸へミカンを運んで大金持ちになった紀伊国屋文左衛門の話は1700年頃のことです。その年、紀州は驚くほどミカンが大豊作だったのですが、江戸への航路は嵐に閉ざされていました。紀州からの入荷が少なく価格が高騰していたとき、嵐を乗り越えて江戸の人たちの為にミカンを運んだと江戸っ子の人気者になりました。紀伊国屋文左衛門は後に材木商となり、しがない小商人から豪商へと出世、富と名声を掴んだのです。これも神様のなせる技か??

ふいごを祀る神社が一つだけ知られています。それは鞆神社、大阪市天王寺区にあります。江戸時代、箱ふいご(=吹差ふいご)は大坂で多くが作られていました。ふいご職人さんが祀ったものでしょう。一度訪れてみたいものです。

☆地域によって異なる場合もあります。

☆祀られている祭神は金山彦命、天目一個命(あまのみひとつのみこと)、石凝姥命(いしこりどめのみこと)、三宝荒神、金屋子神(かなやごのかみ)、火の神 軻遇突智命(かぐつちのみこと)と各地の稲荷神などがあり、地域や伝承により異なります。

ちなみに、岐阜県の南宮大社では金山彦命を祀っています。

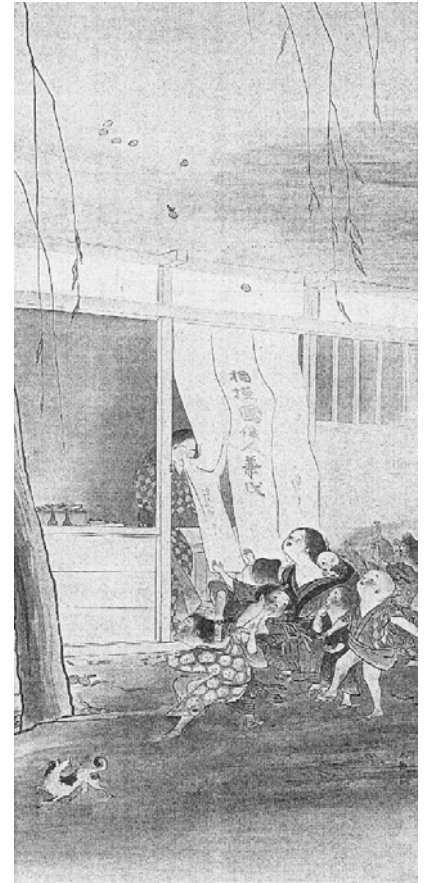
(この絵は 横山 大観 明治30年(1897)頃
絹本彩色・軸装 横山大観記念館蔵)

参考資料

江戸職人図聚 三谷 一馬 中公文庫 1998 年

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/>
ryou@memenet.or.jp



むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください!!